

八日市 v s 彦根東



# 八日市を破りベスト8へ



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校  
新聞部  
彦根市金龜町4番7号



5月20日に野洲市のビックレイクで春季大会が行われ、本校サッカー部が接戦の末、1対0で八日市を破りベスト8に進出した。

決勝点を入れて喜びをみせるメンバーたち



ゴールを決めたのは背番号18番の成田君。

強風の吹き荒れる中行われた今回の試合、前半・後半共に両校無得点で延長戦にもつれこんだ。延長前半6分、背番号18番の成田開君(33)が勝負を決める一点を決めた。

強風の吹き荒れる中行われた今回の試合、前半・後半共に両校無得点で延長戦にもつれこんだ。延長前半6分、背番号18番の成田開君(33)が勝負を決める一点を決めた。チーム全体でまとまってきた。チーム全体でまとまってきた。チーム全体でまとまってきた。

今回の勝利へと導いた成田君は「今日の試合は、自分たちがよく頑張っていた。中でも出場している選手がよく頑張っていた。一つでも上へいけるようにしたい」と話してくれた。

主将の下村健太郎君(32)は「八日市は練習試合で対戦していた。しかし公式戦ならではの緊張感があった。押される時間も多かった」と試合を振り返った。最後に監督の北村哲士先生は「厳しい試合になるのは分かっていた。中でも出場している選手がよく頑張っていた。一つでも上へいけるようにしたい」と話してくれた。



試合を終え、喜びを分かち合うサッカー部員。

その後、八日市の必死の攻めに耐え見事勝利した。試合後、喜び部員達に話を聞くと磯崎俊希君(38)は「彦根東のサッカー部は諦めず頑張るチーム。だから仲間を信頼して頑張ろうと思える。今日は自分の誕生日で、部員の皆に最高の誕生日になった。皆にありがとう。3年は負けたら引退だから最後まで全力で頑張りたい」と話してくれた。また、2年生たちは「超うれしい。勝って本当に良かった。次の試合では無失点におさえて点をとりたい」と柴宮暁君(25)を中心に話した。安田大君(31)は「相手に押されてなかなかしんどい試合だった。チーム全体がまとまることができ、最後に得点を決めることが出来た。チーム全体でまとまってきた」と話してくれた。